

次なる一手 その4

立春になりました。暦の上ではもはや春なのです。そして、本日から4日間、後期期末考査が始まります。1，2年生は一年の締めくくりのテストですので、心おきなく学習に専念してください。それから、評定が決定するテストとなりますので、次なる一年及び二年を見据え、進路開拓ができるだけ有利に運ぶように十分なる成果を達成してください。

この1週間が過ぎると、本当の次なる一手を考えつくさなければなりません。それぞれの学年において、2年生では、理社の取り組みのアドバイスを考えていたり、1年生においては、先取り学習の積み重ねを考えていたりします。ぜひ、磐城高校の先生方とのコミュニケーションを大切にして、自分の戦略を構築してほしいと思います。

また、今後のAO入試対策のためのプレゼン資料の準備や、今までの様々な活動成果を電子データとしてまとめる作業も並行して行ってください。国立大学においても、定員の3割をAO入試で募集する時代がやってきます。地域企業との連携やテーマ学習を行っているのはそのためです。タブレットを準備したのもそのためです。パワーポイントのプレゼン資料もそのまま送付できるのです。その情報を担任と共有して、東北大学ならばAOⅡ期選抜とAOⅢ期選抜と前期選抜を貫いて志願する戦略を立ててください。

もう一つ、学習を深化させるために、塾の指示通りに学習するのではなく、様々な取り組みを積極的に取り入れてください。例えば、東大や東北大の理系の生徒は、大学への数学という雑誌の問題を解いて、水野先生や斎藤先生と研究してください。さらには、各志望大学の駿台の青本を購入して、どのような思索的構造でその大学が問題を作成しているかを研究してください。過去問を5年分解くことで、十分理解できます。

春季課外までにこの取り組みを先んじて行うことによって、それぞれのねらいが明確になります。友人たちと議論しながら情報を共有して、チーム磐城の結束を強めてください。

運動部や文化部でできている全国での活躍のアウトプットを学習にも取り入れるのです。相乗効果が期待できます。ぜひどんどん積極的に取り組んでください。5月の連休明けには、3年生は平常課外が始まるのです。その時まで、受験体制を一人一人が確立してください。

私は3月31日までしかいないので、今から口を酸っぱくして言い続けます。もう一度、磐城の時代を作るのです。

